

Tokyo N VA The Detonation Scenario Book

人を愛せなくなったマネキン

狂気という正気

はじめにお読みください

本書について

本書には、(有)F.E.A.R 社より発売されている TRPG システム「トーキョーN VA The Detonation」のシナリオが掲載されている。

もし、本書に掲載されているシナリオを PL としてプレイするならば、これより先を読んでいただかない。

掲載されているシナリオ

本書に掲載されているシナリオは、製作者が最もよく起こるであろうと考えた筋書きを元に記述されている。プレイ中にシナリオが想定外の方向に進んでしまったとしても、RL は必ずしもシナリオの筋書き通りに進めなければならないわけではない。RL は自分の能力に合った方法で物語を完成させるようにすること。

本書の使い方

プレイ前

本書に掲載されているシナリオをプレイする際、RL は事前にシナリオをよく読み理解しておくこと。

その上で、RL はシナリオの内容やゲストデータ等本書に掲載されている内容全てについて自由に変更してよい。なお、RL 自ら手を加える予定がなくとも、プレイ中にシナリオの記述とは異なる状況になる場合があるので、その対処をスムーズに行うためにもシナリオをよく読んでおくことを推奨する。

プレアクト

掲載されているシナリオの最初のページには、プレアクト時に PL 達に公開するべき情報を全て掲載している。RL はアクトトレーラー及びハンドアウトを読み上げた後、このページを PL 達に開示し説明すること。

アクト中

本書に掲載されているシナリオを元にアクトを進行すること。状況に応じて、適宜シナリオの内容を変更してよい。重要なのはシナリオ通りに話を進めるのではなく、RL と PL 全員が楽しみ、その上であなた達だけの物語を完成させることだ。それができたならそのアクトは成功したと言えるだろう。

なお、クライマックスに登場する予定のゲストデータ、及びゲストの神業は、管理しやすいように一箇所にまとめてある。これらの一覧は、シナリオ想定外の事象が起こった際に役に立つだろう。活用して欲しい。

著作権

本書に掲載されている記述の全てまたは一部を、製作者に無断で複写、改変、二次配布することを禁止する。

それでは、よいアクトを

かくて、運命の扉は開かれる

製作

原作

Nene - Key

執筆

Nene - Key

デザイン

Nene - Key

(<http://neneki.jugem.jp/>)

「トーキョーN VA The Detonation」は有限会社ファースト・アミューズメント・リサーチの著作物です

目次

人を愛せなくなったマネキン 2

人を愛せなくなったマネキン

She lost heart and herself.

「私.....今すぐにでもあなたに抱きしめられたい.....でも、でも、ダメなの.....」

原作：Nene Key
執筆：Nene Key

プレアクト

プレイ前に

このシナリオは「トーキョーN VA The Detonation」用のシナリオである。このページのみPLも読んでかまわない。これ以降のページはRLのみ読んでよい。

アクトトレーラー

キャスト作成前に、以下を読み上げよ。

哀れな男は愛に蝕まれ狂気に堕ち、全てを壊し
哀れな女は愛することを捨て、全てに怯え
哀れな男を見捨てられぬ親友は、全てを捨てた

愛する人を手に入れるまで、全てを壊す
だが、それは愛する人すらも壊してゆく

トーキョーN VA The Detonation
「人を愛せなくなったマネキン」

推奨スタイルと設定

本アクトにおける推奨スタイルと、キャストにつく設定は以下の通りである。

カタナ

荒事師。マナというマネキンと深い仲。

レッガー

音羽組組員。芹沢という組員と友人。

イヌ

ブラックハウンドの隊員。笠原という隊員とパディを組んでいた。

フェイト

探偵。ニケとのコネがある。

シナリオハンドアウト

以下のハンドアウトを参考にしてキャストを作成せよ。また、キャスト同士のコネは以下の順番で取得する。

『カタナ』 『イヌ』 『レッガー』 『フェイト』 『カタナ』

参加人数

このアクトは3~4人用である。3人でアクトを行う場合は、『フェイト』を削除すること。その場合、参加するキャストが《真実》や《電脳神》等の情報取得系神業を1つ以上所持していることが望ましい。

必要防御神業

キャストが神業だけで死なないために必要な防御神業は1つである。

達成値環境

このアクトの達成値環境は25である。

運命の扉が、3人を狂わせた

カタナ

コネ：マナ

スーツ：ハート、クラブ

マナはひいきにしていたマネキンだ。荒事師という荒んだ仕事を生業にしていたキミにとって、彼女は全く逆の存在だった。華やかな衣装に身を包み、天真爛漫な笑顔、そして妖艶な色気で、店中の客の目を引いていた。キミはそんな彼女の“お得意さん”だった。その彼女が、急に店を休むようになって3日が経ったらしい。代わりにあてがわれたマネキンをよそに、キミはマナの事を考えていた。

イヌ

コネ：笠原卓哉

スーツ：スペード

卓哉はブラックハウンドの隊員で、キミとコンビを組んでいた。だが、そのコンビはもう解消されている。なぜなら、卓哉は死んだからだ。仕事を抜きにしても、卓哉との関係は極上だった。だが、アイツは死んだ。非番の日、アイツは私服姿でストリートに転がっていた。キミは誓った。犯人を必ず見つけ、制裁を食わせてやる、と。理性なんかでは、この怒りを抑えきることはできなかった。

レッガー

コネ：芹沢弘人

スーツ：スペード

芹沢弘人。最近のレッガーにしちゃ人情に篤い、OJな奴だ。あいつと行きつけのバーで酒を飲んだのは昨日のこと。いつものウィスキー、いつものストレート・ノウ・チェイサー。ただ違ったのは、これが芹沢の奢りだったってことと、浮かない顔をしていたことだ。ちょっとは心配してやって話を聞いてやるうにも、はっきりした答えすら返ってこない。ただ一人、何かを決めたように酒を煽っていただけだ。なあ、相談くらいしてくれてよかったんじゃないか。失踪なんかする前によ。

フェイト

コネ：ニケ

スーツ：自由

ニケに呼ばれてアテナポリスに来たはいいが、まったく落ち着かない。なにせ目の前にニケがいて、高そうな酒を振舞ってくれているからだ。しかもここはボックス席。この狭い空間にニケと2人っきりってやつだ。そうこうしていると、ニケは急に身体を攪り寄せ、耳元に顔を近づけてきた。手まで握られている、もう逃げられない。そんなことを考えていると、聞き慣れたフレーズが耳に飛び込んできた。
「お仕事の依頼があるのですけれど、受けてくださらないかしら？」

オープニングフェイス

カタナ：逢えない姫

フィクサーは『カタナ』の持っているコネの内から選ぶのがいいだろう。持っていなければマイケル＝グローリーあたりが適当だ。

描写2は、マナを気にかけている『カタナ』と、何も知らないマネキンとの対比がポイントだ。もし、『カタナ』がマナのことを聞かないような不屈者（もしくはハードボイルドか？それともシャイか）ならば、マネキンのほうからマナの話を振ってしまおうとよいだろう。

レッガー：芹沢との会話

『レッガー』と芹沢の会話では、芹沢が何か思い悩んでいることを伝えられればよい。会話の節々で、彼が思い悩んでいる様子（台詞が途切れがちになる、グラスを傾ける手が止まる、など）を描写しよう。

ストーリー

連続殺人事件。それは一人のマネキンと、一人の男から始まった。男はマネキンをひたすら愛し続けたが、ついに彼には振り向かなかった。

マネキン愛するあまり狂気に堕ちた男は、一人のアヤカシに唆され、サイバーサイコへと成り下がる。男はマネキンに近寄る不埒な輩を見境無く殺し続ける。

そんな男を、最後まで見捨てることのできなかった親友のレッガー。彼は幼少の頃、隅田川で溺れた所を男に助けられ、それ以来親友として今まで生きてきた。彼は、それ以来男を見捨てることも、裏切ることもできなかった。男の所業を知ったレッガーは、音羽組から姿を消し、男の後始末をし続ける。

一方、愛していた者が次々と謎の死を遂げていくさまに、マネキンは言いようの無い恐怖を覚え、人を愛することを恐れていく。ついさっきも、親しくしていたブラックハウンドの隊員が死んだという話を聞いたばかりだった。

『カタナ』は、親しいマネキンの身を案じ、男に命を狙われる。また、『レッガー』は男の後始末をしている哀れなレッガーと知り合いた。

『フェイト』はマネキンの勤めているクラブで依頼を受け、『イヌ』は男に殺害された相棒の仇を討つために捜査をする。

それぞれの事情から、キャスト達は事件に巻き込まれていく。

オープニング

カタナ：逢えない姫

登場：＜社会：N VA、ストリート＞15

解説1

『カタナ』のオープニング。アテナポリスにて『カタナ』がマナと親しくなるシーン。

描写1

ここはアテナポリス。キミは一仕事終えた後、依頼人のフィクサーに誘われたのだ。華やかな雰囲気、豪華な酒と肴。キミとフィクサーの周りにいるマネキン達が、次々に二人に酌をする。その中に、一際キミの目を引いたマネキンがいた。彼女はマナという、ここではかなり人気のあるマネキンらしい。

セリフ

フィクサー

「今回の件、見事だった。また、何かあったら君に頼むことにするよ」

「おや。マナは君のことが大層お気に入りようだ。彼女はここではかなりの人気だね。光栄なことじゃないか」

マナ

「初めまして、マナっていいです」

「素敵の方.....隣に座ってもいいですか？」

「ふふ.....」(微笑みながら擦り寄る)

結末1

『カタナ』とマナが好意的な会話を楽しんだら描写2へ。

解説2

アテナポリスにて、『カタナ』がマナのことを気にかかるシーン。

描写2

それから数週間後、キミはアテナポリスでマネキン達と酒を飲んでいる。いつもは隣にマナがいるはずなのだが、今日は休みのようだ。仕事が忙しくここしばらく来ていないうちに何かあったのだろうか。そんな事を思いつつ、キミは酒を飲んでた。

セリフ

マネキン達

「いつもはどんなお仕事をしてるんですか？」

「なんか.....元気がないみたいですね。楽しく行きましようよ。ほら、ぱっと！」

「(マナのことを聞かれたら) マナちゃん、ですか？最近見ないです。疲れてるんじゃないかな」

「あ、わかった。マナちゃんがいらないから元気がないんですね～」

結末2

結局、マナには会えずじまだった。『カタナ』は代金を置いてアテナポリスを後にした。

レッガー：バー・ヤロールにて

登場：＜社会：N VA、ストリート＞10

解説1

『レッガー』のオープニング。いきつけのバーにて、芹沢弘人と『レッガー』が酒を酌み交わすシーン。

描写1

薄暗い照明。周りの喧騒。「奢るから、付き合ってくれないか」そう言われ、キミは芹沢といきつけのバーで酒を飲んでた。さっきから何も言わず、二人で静かに酒を飲む。ふいに、芹沢が聞いてきた。「人を裏切れない、見捨てられない...そんな奴は俺たちの世界にや向いてねえんだよな...」

セリフ

芹沢

「なあ、『レッガー』よ。お前に親友はいるか？」

「もし、親友が間違ったことをしていても、自分にとばかりがくるとわかっていても、見捨てないってのは.....甘すぎるか？」

(間違いを論ずと答えた)「.....そうだよ、な。」

それが普通、か」

「変な話をしちまって.....悪かったな」

結末1

芹沢は二人分の勘定を置いて、夜の闇に消えていった。描写2へ。

解説2

描写1から数日後、『レッガー』が音羽南海子から依頼を受けるシーン。

描写2

それから、数日後のことだった。キミは音羽南海子に呼ばれ、河渡商事の社長室まで来ていた。社長のイスに座りながら、南海子はキミに言った。

「芹沢が、失踪したよ」

セリフ

音羽南海子

「ここんどこ、連絡がなかったのさ」
「調べてみたら、荷物もきれいさっぱり。トンスラでもしたのかね」

「とにかく、探してきな。あいつはそこそこ使える奴なんだ。ちょっと性格に問題があるが、ね」

結末 2

数日前、一緒に飲んだときのことが気にかかる。様子がおかしかった芹沢。いったいどこにいったのだろうか。『レッガー』は芹沢を探しに、外へ出た。

フェイト：ニケからの依頼

登場：<社会：N VA、ストリート>15

解説

『フェイト』のオープニング。アテナポリスにて、『フェイト』がニケから依頼を受けるシーン。

描写

キミはアテナポリスのボックス席にいる。隣にはあの有名なニケが座って、キミにお酌をしているところだ。彼女に招待されたキミは、慣れない所に戸惑うばかり。そんなキミを、ころころと表情を変えるニケが、吸い込まれてしまいそうな瞳で見つめていた。彼女はキミの耳元に顔を近づけ、言った。

「お仕事の依頼があるのですけど、受けてくださらないかしら？」

セリフ

ニケ

「実は、三日前からうちのマナって娘がお店に出てこなくなってしまったんです」

「マナはうちのお店では結構人気があるんです。彼女がいらないとお客さんに申し訳がたたなくて……」

（心当たりを聞かれた）「そうですね……ここ最近、どうも元気がなかったくらい、ですね」

「現に、マナが目当てのお客さん達が、めっきりいらっしゃらなくなってしまったんです」

「報酬は前金、成功ともに1ゴールドです。それとも、一夜の夢をご覧になりますか？ふふ……冗談ですよ」

結末

「よろしく、頼みますね」ニケは耳元で囁きながら『フェイト』の手を握った。ニケが『フェイト』から身を離すと、『フェイト』の手には1ゴールドが握られていた。

「続きは、お仕事が終わったら。またいらしてくださいね」

そう言って、ニケは微笑んだ。

イヌ：相棒の死

登場：<社会：ストリート>10

解説 1

『イヌ』のオープニング。ストリートにて、『イヌ』の相棒であった笠原が殺害されるシーン。

描写 1

イエローエリアの見回り。キミはいつものように職務に当たっていた。相棒の笠原は非番。

知り合いに会いに行くらしい。今頃アイツはその友人と飲みにもいってるんだろうか。そんなことを思っていた矢先に、キミは裏路地から悲鳴を聞いた。

裏路地に駆けつけると、そこには腰を抜かした女性と、倒れた男…笠原の姿がそこにあった。ガタガタと震える女性。瀕死の相棒。信じられない光景がキミの眼前にはあった。

セリフ

女性

「ひ……人が……」

「わ、私が見たときにはすでに倒れて……」

笠原卓哉

「……『イヌ』……か？」

「（どうしたのか聞かれた）いきなり襲われた…

…後ろから……な」

「すまねえな……もうお前と……パディ……組

めそうに……ね……え……（息を引き取る）」

結末 1

『イヌ』はやりきれない思いを胸に、事件の発端に出会った。描写 2 へ。

解説 2

描写 1 の翌日。『イヌ』が千早冴子に捜査を命じられるシーン。

描写 2

翌日、隊長からお呼びがかかった。キミが隊長室に入ると、千早冴子隊長はキミのほうを振り返り、深刻な顔をしていた。

セリフ

千早冴子

「昨日は、ご苦勞様」

「今回の事件、嫌な予感がするわ。このままで終わるわけじゃなさそうよ」

「その理由は 3 つあるわ。でも、今はそんなことを言っている場合じゃない」

「あなただって、今すぐにも捜査を始めたいと思っているんじゃないかしら」

結末 2

隊長はキミを真直ぐに見つめ、言った。「今回の事件の捜査は、あなたに一任します。仇を、とってあげなさい。そして、猟犬の怖さを、犯人に思い知らせて上げなさい」

芹沢の性格

「問題がある」といったのは、レッガーとして問題があるという意味だ。芹沢の性格は人を裏切れず、人情に厚いタイプである。「そこそこ使える奴」とは、火澄とのコネを持っていることである。サイバーサイコに落ちる前の火澄は十分な実力を持つカゲだったのだ。

ニケの思惑

ニケは、マナがいなくなることによって客が減ることを懸念している。また<風の噂>でマナにかかわっていた客によからぬことが起きていることを耳にしているため、『フェイト』に依頼をした。

一夜の夢

『フェイト』が希望するならば、成功報酬の1ゴールドはナシになる代わりにニケ（望むなら他のでもかまわないが）と一夜の夢を見ることができる。RLは「好きだな、アンタも」とニヤリと笑ってやれ。

襲われた卓哉

笠原を殺害したのは火澄である。笠原の知り合いとはマナのことだ。マナにまわりつく男（誤解だが、火澄にはそう映った）として、笠原は火澄に殺害された。なお、『黄泉還り』等で卓哉を助けた場合、一命は取り留めるが、重症によりアクト終了まで病院にいることになる。

嫌な予感

冴子は、今回の殺人事件が、連続殺人事件と関わりがあると感じている。

三つの理由

お得意の台詞を取り下げるほど、今回の事件に冴子嬢はお怒りのご様子だ。

マナ

スタイル

マネキン=マネキン=マネキン

設定

「私は……もう誰も愛してはいけないの」

18歳にしてアテナポリスの中でも上位を争うマネキンの中のマネキン。人の良いところを見つけ、惚れ込んでしまう（それこそ自己暗示がかかるくらいに）性格だ。

しかし、自分が好きになれなかった者に対しては、表面上は取り繕っていても（マネキンという商売柄、これは非常に大切なことだ）、心は開かない芯の強い女性。

リサーチフェイズ

マナの家の鍵

<コネ：マナ>による開錠は、合鍵を持っていたなどの演出をしよう。もし PC が<白兵>などでドアを破壊して入った場合、それが『カタナ』でない限り、マナは怯える。<心理><交渉><適切なコネ>のどれかで 15 以上を出さないとマナは隠れ、口をきいてくれなくなる。

マナを連れて行く

キャストがマナを連れて行くとした場合、彼女は拒否する。無理にでも連れて行こうとした場合は《ブリーズ！》を使用すること。

マナへの《真実》

マナに《真実》を使用しても、彼女が知っている情報はリサーチフェイズで得られる情報くらいである。彼女は火澄が犯行を行っていることは知らない。もし PL が《真実》等の神業を使用しそうなったら、リサーチで調べてからでも遅くは無いということを伝えよう。

ストーク・アタック

ここでは、火澄が『カタナ』の《死の舞踏》で倒されることを想定している。RL は『カタナ』の PC を本気で倒しにかかること。火澄が《黄泉還り》で《死の舞踏》を無効化することをキャストが警戒しているようならば、このシーンがクライマックスではないことを説明するといだろう。

カット進行が長引いた場合、火澄は退却する。

芹沢への《真実》

芹沢に《真実》を使用した場合、芹沢の《不可触》が解除される。なお、芹沢は《不可触》が解除されない限り隅田川の土手にいる。キャストの説得には基本的に応じず、場所を移動することもない。

芹沢の退場

キャストが何もしなければ、そのまま退場する。対抗する場合、<運動>で対決すること。キャストに妨害された場合、ある程度やり取りした後に、舞台裏からチャーリーが《天変地異》を使用して芹沢を退場させる。

クライマックスへの条件

イベント「カタナ：囚われのお姫様」が終了したら、クライマックスフェイズとなる。

イベント

カタナ：人を愛せなくなったマネキン

条件：マナの家にいった

登場：<社会：N VA、テクノロジー>

<コネ：マナ>10

解説 1

マナの家の前のシーン。扉は硬く閉ざされている。描写 1 の後に<知覚>もしくは<電脳>の判定に成功すれば、中にマナがいることがわかる。

描写 1

イエローエリアにある高級マンション。その一室であるマナの家の扉は閉まっている。ベルを押しても返事はなかった。

結末 1

<電脳><コネ：マナ>のいずれかで達成値 10 の判定に成功すれば、扉が開く。描写 2 へ。

解説 2

マナの家の中のシーン。マナは自分の愛した男が次々と殺されていくことに怯えている。<知覚><心理>の判定に成功すれば、精神的にかなり追い詰められていることがわかる。

描写 2

薄暗い部屋。照明一つ点いていない部屋の片隅に、クッションを抱え、足元を見つめるマネキンが一人。キミが近づいても、彼女は気づくことなく、俯いたままだった。

声をかけると、驚いたように身を震わせ、彼女は後ずさった。そして、彼女は恐る恐るキミの方を向いた。

セリフ

マナ

「ひっ……『カタナ』？……びっくりした……」
「……ごめんなさい。私に、もう……関わらないでください。もう、私は……誰も愛してはいけけないの」（なぜかと聞かれたら）「私、今すぐにでもあなたに抱きしめられたい……でも、でも、ダメなの……」
「お願い、帰ってください。私、あなたまで失いたくない……だから……（うつむく）」

結末 2

結局、マナは何も話してはくれなかった。今日のところは帰るしかなさそうだ。

カタナ：ストーク・アタック

条件：イベント「カタナ：人を愛せなくなったマネキン」後の『カタナ』のシーン

登場：<社会：N VA、ストリート>13

解説

『カタナ』が火澄に襲われるシーン。『カタナ』がマナと関係を持っていることを知った火澄は、他の被害者同様に『カタナ』を殺す目的で襲い掛かる。火澄はすでに全てのサイバーウェアを起動済みであるとす。なお、最初の一撃は火澄が手札から判定し、それ以降はカット進行に入ること。

描写

ストリートを歩いていると、背後から一撃。ギラついた目。その目には正気などかけらも残っていない。殺す。その強烈な悪意だけが、キミを貫いていた。

セリフ

火澄

「……コロス、コロシテヤル」

「……アイツハ、オレダケモノノダ」

結末

『カタナ』が倒されるか、火澄が倒されたらシーンは終了する。なお、『カタナ』が倒された場合、火澄は『カタナ』に止めを刺す（つまり[完全死亡]を与える）。

レッガー：芹沢の決意

条件：芹沢に会いに隅田川の土手へ行った

登場：<社会：ストリート>10

解説

『レッガー』と芹沢が会うシーン。芹沢は隅田川の土手の目立たない場所で簡易な住居（ダンボールハウス相当）を建てている。

描写

日も沈みかけた頃、キミは隅田川の土手でダンボールハウスを見つけた。そして、そこに芹沢が入っていく所も。

セリフ

芹沢弘人

「『レッガー』……か。姐さん、やっぱり怒ってるか」

「（理由を聞かれた）すまねえな……俺にはこうすることしかできないんだ。理由は、言えねえ」

「……最も、あいつを救うことはできないだろうがな」

「帰ってくれ。もう引き返せねえんだ」

「（《真実》を使用した）俺の親友が、狂っちゃった。そいつの後始末をするのさ。関わるとロクな目に合わないぞ。……お前も、俺も、な。姐さんには、俺は死んだと言っておいてくれ。『馬鹿な男は、隅田川に身を投げちゃいました』ってな」

結末

《不可触》が打ち消された場合、芹沢は隅田川に飛び込み退場する。

フェイト：火澄とマナ

条件：火澄とマナの事をニケに聞いた

登場：<社会：ストリート>10

解説

『フェイト』の情報収集シーン。ニケはマナに付きまといていた火澄のことを思い出す。

描写

キミは、再びアテナポリスへと足を向けた。入り口でニケの名前を出すと、しばらくして奥のボックス席に通された。依頼を受けた場所だ。そこにはニケが、やはり依頼を受けた時の様にこやかな笑みを浮かべながら待っていた。

セリフ
ニケ

「『フェイト』さん、何かお分かりになりました？」
「(マナの様子を話した) 一体、あの娘に何が……」
「(火澄について聞いた) 火澄さん……ああ、ちょっと前までここのお得意様でした。マナをいたく気に入っていたご様子でしたわ。そういえば、最近お見えになりませんね」

「(マナと火澄について聞いた) 他の娘には目もくれないでマナに会いにいらっやっていたようですわ。マナの方ですか？もちろん、きちんとおもてなししていましたわ。それでも、私たちはプロですもの」

結末

あらかた情報は聞いた。キミは店を後にした。

イヌ：誘惑の時

条件：イヌが火澄のことを調べた

登場：他のキャストの登場は不可

解説

『イヌ』をチャーリーが<引き寄せ>で幽屋に招き入れサイバー化を勧めるシーン。チャーリーは『イヌ』の憎しみの心を指摘し、復讐のために力が欲しく無いかと聞いてくる。

描写

ストリートまでやってきたキミ。しばらく聞き込みをしていたが、一瞬、視界がブラックアウト。気がつく、キミはいつの間にか薄暗い部屋にいた。目の前にあったドアが開き、そこから眼鏡をかけた青年が現れた。

セリフ

チャーリー

「初めまして。『イヌ』さんだね？」
「キミからはずいぶんいい雰囲気を感じられる。どうだい、力が欲しくないか？」
「キミがうんと言え、望むだけ力をあげよう。」
「(理由を聞かれた)……単なる趣味さ。力と憎悪が織り成す芸術はたまらなく美しいんだ」

結末

イヌがチャーリーの申し出を断ったなら、いつのまにかイヌはストリートに佇んでいる。

ルーラーシーン：カブク

条件：キャスト全員が火澄を敵と認めた

登場：キャストの登場は不可

解説

火澄がマナを攫うシーン。

描写

薄暗い部屋。マナはあれからずっと、クッションを抱えてうずくまっていた。『カタナ』……ごめんね……うわ言のようにそう呟く彼女。刹那、轟音と共にドアが吹っ飛び、人影が彼女に向かった。突然の事に気絶したマナを、芹沢が抱き抱える。「すまねえな……」呟く芹沢。火澄がスラッシャーを仕舞いながら言う。「芹沢、お前といえどもマナに手を出したら容赦はしないぞ」わかっているさ。けど、お前……本当にこれでよかったのか？」

結末

「……黙って俺に従ってればいい」
火澄と芹沢はマナを連れて退場する。

カタナ：囚われのお姫様

条件：イベント「カブク」の後

登場：場所による

解説

火澄と芹沢が『カタナ』にマナを拉致したことを伝えるシーン。火澄はマナの目の前で『カタナ』を倒し、マナを自分のものにしようとする。企んでいる。

描写

『カタナ』のポケットロンにコールが入る。「あんなが、『カタナ』だな？」男の声だ。

セリフ

芹沢

「マナはこちらが預かっている」
「取り返したければここに来い(隅田川近くの倉庫のアドレスを入手)」

結末

「ここで全てケリがつく……」コールは一方向的に切れた。

情報

：マナ

<社会：ストリート×コネ：マナ>

- 10…アテナパリスのマネキン。店での人気は非常に高い。
- 13…マネキンとして非常に高い素質がある。マナと知り合った客はほぼ間違いなく次も彼女を指名する。
- 15…ここ3日間、ずっと家にいるようだ。イエローエリアのマンションである自宅のアドレスを入手。
- 18…彼女と関わりのあった男が次々と消息不明(芹沢による《不可触》)となっている。健在なのは『カタナ』。それと火澄という男くらいだ。

18の情報を手に入れた

神業…マナとかかわった男は全て火澄耕一という男の手によって殺害されている。

：笠原卓哉

<社会：警察×コネ：笠原卓哉>

- 10…ブラックハウンド隊員。『イヌ』の相棒だった。
- 13…現在起こっている連続殺人事件に巻き込まれたという見解が強い。
- 15…マナというマネキンと親しくしていた。どうやら古くからの友人のようだ。
- 18…職務とは別に、独自に捜査を行っていたようだ。マナがらみのことらしい。

：笠原の独自の調査

<社会：警察、ストリート×コネ：笠原卓哉>

- 15…火澄という男を追っていた。

：マナと親しくしていた人物

<社会：ストリート×コネ：マナ、ニケ>

- 10…数多くいるが、殆どが消息不明である。
- 13…笠原という男が古くからの友人らしい。
- 制…最近では『カタナ』という男が親しくしていた。

私たちはプロですもの

つまり、本心ではお気に召さなかったのだ。もっとも、そんなことを(たとえ相手が依頼したフェイトであろうとも)店の中で言うわけにはいかないの、こういって物言いになっている。

引き寄せ

チャーリーはシーン内の超遠距離にいる。<自我>+<引き寄せ>により、自分のいる幽屋に引きずり込んだ。

チャーリー

彼は<悪魔の一族>なので嘘をつけない。自分に都合の悪い質問はうまくはぐらかすこと。返答に困ったら、「意味深な笑みを浮かべている」だけでよい。

『イヌ』の対応

もし『イヌ』が申し出を受けた場合、経験点合計100点までの装備を手に入れることができるが、「脳内爆弾」を入れられてしまう。これは『イヌ』がクライマックスでチャーリーに対して敵対行動をとった場合、即座に使用される。

また、『イヌ』が申し出を断る際にチャーリーに攻撃を行ったならば、ダメージに関わらず救命符を使用する。

男の声

電話の主は芹沢だ。『カタナ』が何らかの方法で芹沢の声を知っていたならばわかったことにしてよい。

《不可触》の効果

《不可触》によって隠蔽されている情報は、火澄が今回の殺人事件の犯人であるという事実である。他の情報を総合すればおそらく火澄であると予想できるかもしれないが、その証拠は全くなく、法的に問うこともできないということだ。

火澄の所在

チャーリーの幽屋にいる。チャーリーはキャストの侵入はイヌのイベント時以外には許さないため、幽屋を探すことは基本的に不可能とする。

：『カタナ』を襲った男

<社会：ストリート>

15...火澄耕一という殺し屋だ。

：被害者の共通点

<社会：ストリート、警察>

10...アテナポリスに出入りしていた。

13...アテナポリスのマネキンのマナと親しくしていた。

15...昨日、ブラックハウンド隊員の笠原卓哉という男が殺害された。

神業...「情報：マナ」の神業情報と同じ。

：殺人事件

<社会：ストリート、警察>

10...一ヶ月程前から、イエローエリアの中でも治安の悪い場所で殺人事件が頻繁に起こっている。

13...多大な出力と様々な武器による傷口、常軌を逸した傷の多さなどの手口から、サイバーサイコの犯行という見解が出ている。

15...全身をサイバー化した男が現場から逃げ去ったのを見たという目撃証言がある。

：全身をサイバー化した男

<社会：ストリート、テクノロジー>

10...「マナ」「邪魔な奴」「殺す」と独り言を言いながら、殺人現場から去っていった。

神業...「情報：マナ」の神業情報と同じ。

：火澄耕一

<社会：ストリート、警察><コネ：笠原卓哉>

10...フリーの殺し屋。腕はかなり立つ。

13...芹沢という友人がいる。かなり親交は深かったようだ。

15...こここのところ、全く連絡がつかないらしい。

16...少し前に、アテナポリスに通っていた。

18...一ヶ月ほど前に、ストリートのチャーリーという男と接触し、全身をサイバー化した。

：チャーリー

<社会：ストリート、テクノロジー>

10...サイバー手術を得意とする闇医者らしい。

13...ある条件を持った者にしか力を貸さないことで有名だが、そこらのタタラより腕がいいため訪れる者は後を絶たない。チャーリーが出没したという場所のアドレスを入手。

15...彼が選んだ者しか、彼の家に入ることはできない。彼が選んだ者のみ、力を手に入れることが出来るらしい。

18...最近では、火澄という男が接触し、力を手に入れたらしい。

：チャーリーの所在

<社会：アストラル>

20...アストラルの幽屋にようだ。乗り込むことは不可能だろう。

：芹沢

<社会：ストリート、警察><コネ：芹沢弘人>

10...本名、芹沢弘人。音羽組のレッガー。

13...火澄という友人がいる。かなり親交は深かったようだ。

15...現在、行方をくらましている。

21...この所発生している連続殺人事件の事件後の現場で目撃されているらしい。どうやら事件の後始末をしているようだ。

：火澄の所在

<社会：ストリート>

10...神出鬼没らしく、どこにいるのかわからない。

<社会：アストラル>

20...アストラル界の幽屋にいらしい。

：芹沢の所在

<社会：ストリート>

13...現在行方不明。住居はもぬけの殻だ。

15...様々な場所を転々としている。(理由は<不不不>されているため不明だ)

18...今は、隅田川の土手の辺りにいらしい。アドレスを入手。

：『カタナ』

<社会：『カタナ』の所有する社会>

制：プロファイルとアドレスを入手。

15: 芹沢という男が彼の身辺を調べていらしい。

：『イヌ』に接触した男

<社会：ストリート、テクノロジー>

制...チャーリーという闇医者だ。

：芹沢と火澄の関係

<社会：ストリート>

13...まだガキの頃、二人はストリートキッズだった。隅田川で溺れた芹沢を火澄が命がけて助け、それ以来二人は親友になった。

15...互いに信頼し合う仲だったらしい。芹沢の危機を火澄が救ったことも数え切れないほどだ。

18...芹沢は命の恩人である火澄の言うことはなんでも聞からしい。

ひずみ さいいち
火澄 耕一

スタイル

クロマク、カゲ ,チャクラ

能力値

理性 6/12 感情 4/15
生命 6/12 外界 5/9

技能

運動 4
隠密 4
自我 3
白兵 4
泰然自若 3
空蝉 4
影化 6
鉄拳 4

武器

・スラッシャー 隠:15 電:15
攻:斬+6 受:1 射:至近
防具
・刻闘衣 隠:18 電:16
防(殴/刺/斬/爆):0/1/2/0
精神ダメージ2点軽減
サイバウェア
・タイプD 隠:15 電:15
次カットのアクションランク4
・J J F 隠:12 電:15
＜運動＞+2、物理ダメージ+2
・脳内爆弾 隠:21 電:30
精神ダメージ2点軽減

設定

「マナ二近ツク奴ハ.....コロス」
マナに拒絶され狂気に陥った殺し屋。チャーリーによって大幅な強化を受けた。

行動方針

推奨プロット札:
チャーリーの＜加速＞およびスベルロックで常にAR+1。攻撃は＜運動＞+＜隠密＞+＜白兵＞+＜影化＞+＜鉄拳＞で達成値+8、ダメージに+2、差分値を追加。リアクションは＜運動＞+＜隠密＞+＜影化＞+＜空蝉＞で達成値+8で反撃。精神戦には、＜自我＞+＜泰然自若＞で手札からリアクションする。

はざわ ひろと
芹沢 弘人

スタイル

カゲムシャ ,ミストレス,レッガー

能力値

理性 5(8)/12 感情 8(11)/14
生命 5(8)/10 外界 3/12

技能

運動 3
交渉 4
自我 2
知覚 3
社会:ストリート 3
バックアップ 4
肝っ玉 4
母性本能 4
任侠道 4

防具

・ダークナイト 隠:(12) 電:18
防(殴/刺/斬/爆):2/1/1/4
・シュッテ 隠:- 電:12
防(殴/刺/斬/爆):2/1/1/4
サイバウェア
・マスカレイド 隠:20 電:17
精神ダメージ1点軽減
・クロックアップ 隠:20 電:15
次カットのアクションランク3
その他
・ガルーダ 隠:20 電:-
外界以外の能力値+3

設定

「俺は親友を見捨てる事なんてできねえ。.....救うことも、な」
火澄の親友であり《腹心》。幼少の頃、彼に命を助けられて以来、親友となった。

行動方針

推奨プロット札:
基本的に＜交渉＞+＜肝っ玉＞+＜母性本能＞で火澄のリアクションを代わりに行う。達成値+4、「対決:不可」であってもリアクション可能。
《神出鬼没》は、火澄が戦闘不能になった時に使用する。

チャーリー

スタイル

アヤカシ ,バサラ,タタラ

能力値

理性 6/10 感情 4/13
生命 5/8 外界 6/12

技能

医療 4
交渉 4
自我 4
制作:サイバウェア 4
畏怖 3
血脈:悪魔の一族 4
加速 4
引き寄せ 4
パーソナルバリア 4

防具

・戦闘法衣 隠:(15) 電:20
防(殴/刺/斬/爆):4/3/3/5
精神ダメージ4点軽減
サイバウェア
・エンジェルヴォイス 隠:20 電:15
常に＜交渉＞+1
・ディスパッション 隠:15 電:20
常に＜自我＞+2
・救命符 隠:20 電:-
肉体ダメージひとつ打ち消し
・スベルロック 隠:16 電:16
アクト終了時まで特技持続
その他
・幽屋

設定

「いい目だ。その感情は一体どんな芸術を見せてくれるのかな？」
憎悪の感情に漬け込み、人を破壊に導くアヤカシ。

行動方針

推奨プロット札:
＜交渉＞+＜自我＞+＜畏怖＞で精神戦を行う。達成値+3、ダメージに差分値を加える。肉体ダメージは＜パーソナルバリア＞で[判定に使用したカードの数字]点防ぐ。状況に応じて＜血脈:悪魔の一族＞を使用し、他人の達成値を+4する。状況が不利になったら《霧散》を使用して退場する。

ゲスト神業の使用指針

火澄耕一

腹心
不可知
黄泉還り
神出鬼没
ファイト!
不可触

芹沢が火澄を裏切らない理由となる。打ち消せば芹沢を説得できる。
自由に使用可能。シナリオでの即死神業としてカウント。
シーン「ストーク・アタック」で『カタナ』に倒された後にシーン終了後に使用。
自由に使用可能。基本的に火澄が戦闘不能になった場合に使用する。
自由に使用可能。基本的に火澄の《黄泉還り》に使用。
アクト開始前に使用済み。火澄の犯行を隠匿している。

チャーリー

霧散
天変地異
タイムリー

自由に使用可能。基本的にダメージ打消しに用いる。
自由に使用可能。退場に関わった際に舞台裏から使用して退場させるのに使用できる。
自由に使用可能。基本的にゲストの復活に用いる。

戦闘時の配置

キャストから見て、火澄と芹沢は近距離、チャーリーは中距離にいる。

芹沢への説得

基本的に、芹沢は説得には応じられない。これは火澄の《腹心》の効果である。《腹心》を何らかの神業で打ち消した場合、芹沢は説得に応じてもいいだろう。

芹沢が生き残った

《黄泉還り》等で生き返らせる、説得する方法で芹沢が生き残った場合、彼は N VA を離れる事を『レグラー』に告げる。

激突

登場：キャストは全員登場可能

解説

キャストとゲスト達が対峙するシーン。

描写

指定された場所はイエローとレッドの境界、隅田川。そのイエロー側に設置された倉庫には、三人の男と一人の女以外誰もいなかった。

「来たか……」強力な憎悪と殺気を放つ男がキミ達を睨み付けた。

セリフ

火澄

「『カタナ』に）貴様が、マナにまわりつく虫は。マナに群がる男は全て殺した。貴様が最後だ」「（笠原の事を聞いた）あのイヌか？ 目障りだったから消した。それだけさ。」

「（『フェイト』に）貴様、俺を嗅ぎ回っているのか？ そうか貴様もマナに群がるクソ野郎だな。ついでにお前も殺してやるさ」

芹沢

「そこにレッドエリアへの検問がある。お前たちを倒してあの検問を抜ければ俺達の勝ち。それを止めればあんた達の勝ちだ」

「（『レグラー』に）関わるとロクな目にあわないって言ってる……？ 俺達はもう戻れねえ。レッドエリアにとんずらするしかねえんだ。なに、俺もお前もこんなこと望んじやない。わかってるさ……始めから、そんなことは」

チャーリー

「（『イヌ』に）ごきげんよう、『イヌ』君」「彼は私の最高傑作さ。どうだい？ このざつついた憎悪と殺気。美しいじゃないか」

「そうそう、笠原君……だっけ？ 彼を殺すときの火澄君はそれはもう最高だったさ」

「それに比べて、君は使えないオモチャだね」

結末

ゲストを全て倒し、マナを奪還したらエンディングフェイズへ。

エンディングフェイズ

イヌ：相棒は還らず

解説

『イヌ』が千早冴子に結果を報告する。

描写

任務と相棒の敵討ちは終わった。キミは千早冴子に事の顛末を報告した。

セリフ

千早冴子

「『イヌ』君、ご苦労様」「笠原隊員のことは非常に残念だったけど、気を落とさないで。二度とこんなことが起きないようにするのが私たちの役目なんだから」

結末

『イヌ』の返答を待ってシーン終了。

レグラー：ヤクザの掟

解説

『レグラー』が音羽南海子に報告する。

描写

河渡商事の社長室。キミが芹沢捜索の命を受けた場所。そこでキミは南海子社長に今回の事件を報告した。

セリフ

音羽南海子

「そうかい、芹沢がねえ」「馬鹿な奴だね。いいように使われただけじゃないか、火澄つてのに」「後始末は任せたよ。それから……」

結末

音羽南海子はキミを見据えて言った。「あんたは、芹沢みたいになるんじゃないよ。あんたが死んでいいのは組の……いや、私のため。それだけさ」

フェイト：依頼完遂

解説

『フェイト』がニケに結果を報告する。

描写

依頼を受けた時と同じボックス席、正面にはニケがいる。ただ、依頼の時と違うのは、隣にマナが座っていることだった。

セリフ

ニケ

「ご苦労様でした。さすが『フェイト』さん。頼んで本当に良かったです」

マナ

「本当に、ありがとうございました」

結末

二人の美女に囲まれ、仕事の後の達成感に包まれる。しかし、マナは何か他の事を考えているようだ。なるほど、あの色男のことか。

カタナ：そして姫は城へと帰る

解説

『カタナ』はマナと店で逢う。

描写

ここはアテナポリス。一仕事終えた後、マナはキミの隣に座りころころを表情を変える。

セリフ

マナ

「ありがとう、『カタナ』」「私、もう誰も愛してはいけなくて言っただけ……もうだれも愛さないなんて思ったけど……やっぱり、愛さずにはいられないわ。あなたを」

結末

『カタナ』がマナへ返答をしたらアクトは終了だ。

目標値	キャスト				リンク
	1	2	3	4	
：マナ					
10					
13					
15					
18					
神業					
：笠原卓也					
10					
13					
15					
18					
：笠原の独自の調査					
15					
：マナと親しくしていた人物					
10					
13					
制					
：『カタナ』を襲った男					
15					
：被害者の共通点					
10					
13					
15					
神業					
：殺人事件					
10					
13					
15					
：全身をサイバー化した男					
10					
神業					

目標値	キャスト				リンク
	1	2	3	4	
：火澄耕一					
10					
13					
15					
16					
18					
：チャーリー					
10					
13					
15					
18					
：チャーリーの所在					
20					
：芹沢					
10					
13					
15					
21					
：火澄の所在					
10					
20					
：芹沢の所在					
13					
15					
18					
：『カタナ』					
制					
15					
：『イヌ』に接触した男					
制					
：芹沢と火澄の関係					
13					
15					
18					